

地震による電気火災対策には、「感震ブレーカー」が効果的です

地震が引き起こす電気火災とは、地震の揺れに伴う電気機器からの出火や、右のイラストのように停電が復旧した時に発生する火災のことです。

東日本大震災における本震による火災全111件のうち原因が特定されたものが108件あり、そのうち過半数が電気関係の出火だったことを受け、内閣府、消防庁、経済産業省の連携のもと、大規模地震時の電気火災の発生抑制に関する検討会が行われ「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン」が整備されました。特に地震時等に著しく危険な密集市街地における感震ブレーカー等の設置は緊急的・重点的に普及促進が必要とされています。

これまでも地震時に避難する際には、ブレーカーを落とすよう呼びかけていますが、いざ地震が起きてしまうと身を守ることが優先されがちです。「感震ブレーカー」は、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。

感震ブレーカーには、分電盤タイプ（内蔵型、後付型）、コンセントタイプ、簡易タイプがあり、一部を除き電気工事が必要です。費用は、簡易タイプのもので3千円から4千円程度ですが、標準的なものは約5万円から8万円となっています。

医療用機器を使用している住宅や玄関がオートロックの場合は電気が止まると避難の支障となることがありますので、感震ブレーカーの取り付けには注意を要しますが、漏電ブレーカーとともに電気火災の発生抑

制効果をより高めることが期待されていますので、内閣府、消防庁、経済産業省が推奨しています。

災害対策をご検討中の方やこれから新築される方は、参考にされてみてはいかがでしょうか。

！ 電気火災の事例

地震で本棚が倒れ、雑誌が電気ストーブ周辺に散乱。

▼
停電した状態から通電し、ストーブが作動。

▼
紙類に着火し、火災が発生。



※詳しくは、経済産業省または内閣府のホームページをご覧ください。

でんき保安 キーワード クイズ

問題

これまで家庭や商店向けの電気は、各地域の電力会社だけが販売していましたが、平成28年4月1日以降は、電気の小売業への参入が全面〇〇〇されることにより、すべての消費者が電力会社や料金メニューを自由に選択できるようになりました。〇に当てはまる言葉を漢字3文字でお答えください。(ヒント:特集:2ページ)

◎ 3文字 →

本誌の掲載記事の中に該当するキーワードがあります。3文字でお答えください。抽選で10名の方に図書カード(1,000円分)を進呈します。(正解は、「秋初号」で発表)

※当選発表は、景品の発送をもって代えさせていただきます。〔応募締め切り:平成28年8月20日受付分〕



クイズに答えて応募しよう!

【ご応募方法】 URL <http://www.hochan.jp>

弊協会のホームページに掲載の「[でんき保安]発行のお知らせ」にある「クイズ応募フォーム」から以下の必須項目を入力しご応募ください。



- ① お名前、景品の送り先ご住所
- ② クイズの答え
- ③ 「でんき保安」誌をご覧になっての感想

※なお、お送りいただいた個人情報、景品発送またはお問い合わせの回答のみに使用します。

新春号クイズの答え

新春号のクイズの答えは、「50」(創立50周年)でした。ご応募いただき、ありがとうございました。